

# 区民意識調査の結果をお知らせします

## 25年度の テーマは

## ◆新宿区の自治 ◆景観まちづくり ◆新宿区での暮らしと人とのつながり

区では、区の重要課題に対する区民の皆さんの意識や要望を把握し、今後の区政に反映させるため、毎年「区民意識調査」を実施しています。25年度の調査は、無作為に抽出した18歳以上の区民2,500名を対象に、昨年9月上旬に郵送で実施し、1,009名から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

25年度は、毎年調査している「居住意向」「区政への関心」「生活における心配事」などのほか、「新宿区の自治」「新宿区での暮らしと人とのつながり」「景観ま

ちづくり」について伺いました。今回は調査結果の概要をお知らせします。調査結果は、今後の区政運営の貴重な資料として活用します。調査報告書は広聴担当課・区政情報センター(本庁舎1階)・区立図書館で閲覧できるほか、新宿区ホームページでご覧いただけます。また、要約版を広聴担当課・区政情報センター・特別出張所で配布しています。

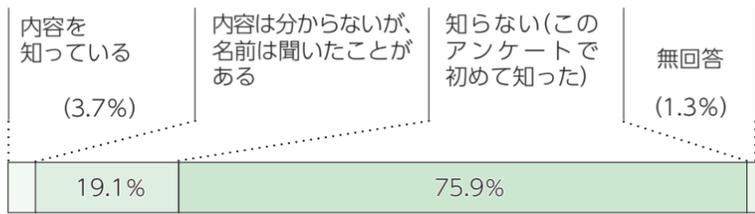
【問合せ】広聴担当課広聴係(本庁舎3階)☎(5273)4065・☎(5272)5500へ。

### 新宿区の自治

#### 「新宿区自治基本条例」の認知度

平成23年4月に施行した「新宿区自治基本条例」は、「新宿区」という単位で物事を考え、決める場合に、誰がどのような役割を担い、どのような方法で進めていくかなどを定める「自治の基本ルール」です。新宿区の地域特性を踏まえ、区における自治の基本理念や基本原則を明らかにしています。

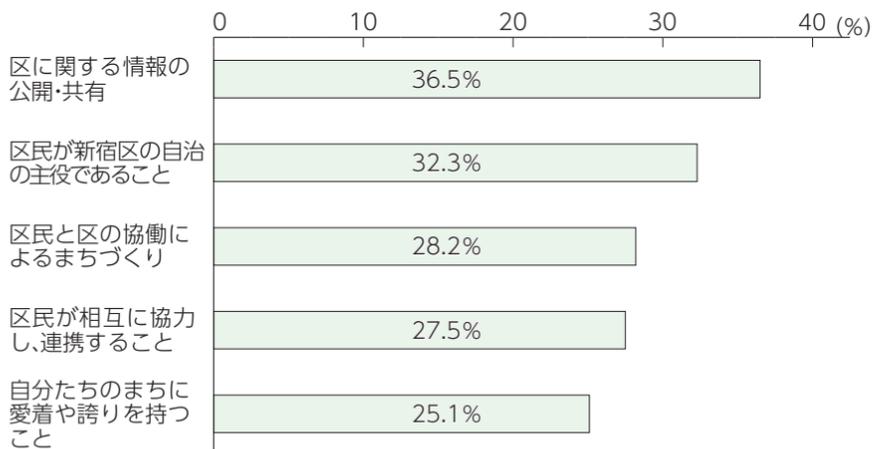
この条例をどの程度知っているか尋ねたところ、「知らない(このアンケートで初めて知った)」が7割台半ば(75.9%)、「内容は分からないが、名前は聞いたことがある」が2割弱(19.1%)となっています。



### 新宿区の自治の基本的な考え方で大切なこと

新宿区の自治の基本的な考え方として何が大切か尋ねたところ、「区に関する情報の公開・共有」が3割台半ばを超えて最も高く(36.5%)、次いで「区民が新宿区の自治の主役であること」が3割強(32.3%)、「区民と区の協働によるまちづくり」が3割近く(28.2%)となっています。

新宿区の自治の基本的な考え方として何が大切か(上位5項目・複数回答)



### 新宿区での暮らしと人とのつながり

#### 暮らしの中での充実感・満足感

日々の暮らしの中で、どんなことに充実感や満足感を感じるかを尋ねたところ、「家族と過ごす時間」が5割近くで最も高く(48.0%)、次いで「趣味」が4割台半ばを超えています(46.7%)。

どんなことに充実感・満足感を感じるか(上位5項目・複数回答)

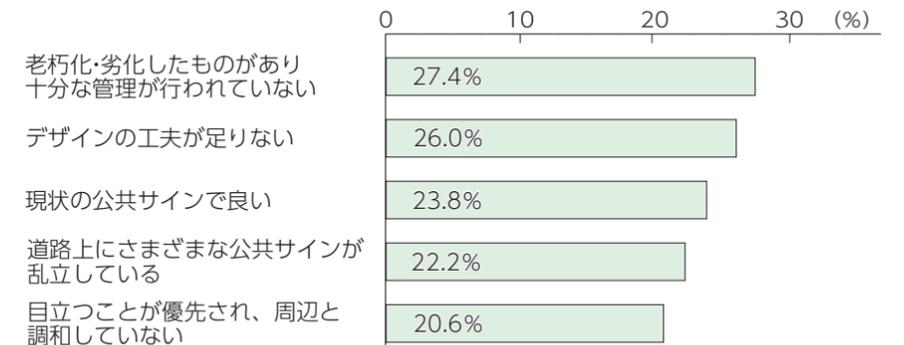


### 景観まちづくり

#### 公共サインの景観上の配慮

路上喫煙禁止の看板や区有施設の案内板など、区などの公共機関がまちの中に掲出・表示する「公共サイン」が、景観上、どのような点で配慮されていないかについて尋ねました。「老朽化・劣化したものがあり十分な管理が行われていない」が2割台半ばを超えて最も高く(27.4%)、次いで「デザインの工夫が足りない」が2割台半ばを超えています(26.0%)。一方、「現状の公共サインで良い」は2割台半ば近くとなっています(23.8%)。

公共サインが景観上配慮されていないと思われること(上位5項目・複数回答)



### 毎年実施している調査項目から

#### 区の施策への要望

上位5項目については過去3年で順位は変わらず、「高齢者福祉の充実」(37.7%)、「防犯・地域安全対策」(30.3%)、「低所得者への支援」(13.2%)は24年度よりポイントが増加しています。



高齢者や介護者に集いの場を提供する地域安心カフェ事業

上位5項目・複数回答

1位	高齢者福祉の充実	37.7%(36.1%)
2位	防犯・地域安全対策	30.3%(28.7%)
3位	震災・水害対策	25.0%(25.7%)
4位	子育て支援(少子化対策)	17.8%(19.3%)
5位	低所得者への支援	13.2%(11.7%)

( )は24年度の割合



客引き行為等防止指導員による繁華街のパトロール

#### 生活における心配事

日ごろの生活の中で、どのような心配事があるか尋ねたところ、「今、心配である」ことの上位3項目は21年度から変わっていません。一方、24年度に4位だった「医療費や介護に掛かる費用が大きな負担となること」に替わり、25年度は「信頼できる友人がいないこと」が4位となっています。

